

# 長野大学履修規程

令和8年4月1日

程第18号

(趣旨)

第1条 この規程は、長野大学学則（平成29年則第1号。以下「学則」という。）第11条第2項、第13条第2項及び第3項、第14条第2項、第15条第2項、第15条の2第2項、第21条並びに第75条の規定に基づき、授業科目、履修方法等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(履修登録)

第2条 学生は、履修しようとする授業科目について、指定の期日内に履修の申請をし、履修登録をしなければならない。

2 前項の履修の申請は、所定の手続により行うものとする。

(科目の履修)

第3条 科目の履修は別表第1及び別表第2に定めるところにより履修しなければならない。

2 履修にあたって、学生に対し、科目の概要、評価方法等、講義の運営を詳細に記載したシラバスを履修登録期間までに提示するものとする。

(履修の上限)

第4条 学期ごとに履修できる単位数は、各年次において次のとおり定め、これを超えて履修できないものとする。

学部	1年次 前・後期	2年次 前・後期	3年次 前・後期	4年次 前・後期
社会福祉学部	20単位	20単位	20単位	30単位
環境ツーリズム学部	20単位	20単位	20単位	30単位
企業情報学部	20単位	20単位	20単位	30単位
地域経営学部	20単位	20単位	20単位	30単位
共創情報科学部	22単位	22単位	22単位	22単位

2 前項に規定する学期で履修できる単位数には、別表第1及び別表第2中履修の上限単位数に含まない科目を除く。

3 第1項の規定にかかわらず、一つ前の期において、第13条第4項に規定するGPAの値が基準値を超えている場合は、次の各号のとおり新たな学期において履修上限単位より拡大して履修することができる。ただし、共創情報科学部に在籍する学生には適用しない。

(1) GPAが2.0以上2.5未満の場合は22単位（4年次は除く）

(2) GPAが2.5以上の場合は24単位（4年次は除く）

(履修制限)

第5条 各授業科目は、その内容又は教室の都合等により、履修者の数を制限する場合がある。

(重複履修の禁止)

第6条 学生は、同一時限の授業科目を重複して申請、受講することができない。

(二重履修の禁止)

第7条 学生は、すでに所定の単位を取得した科目の履修又は同時に同一科目を2科目以上履修することができない。

(履修登録の削除)

第8条 履修登録の修正及び削除は、あらかじめ指定された履修変更期間内に、定められた手続により行う。

(教職科目)

第9条 本学の学部学科において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学部	学科	教育職員免許状の種類	免許教科
社会福祉学部	社会福祉学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状	社会 公民 地理歴史
環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 地理歴史
企業情報学部	企業情報学科	高等学校教諭一種免許状	情報
地域経営学部	地域経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 地理歴史
共創情報科学部	共創情報科学科	高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学 情報

2 教育職員免許状の取得に必要な授業科目の種類、単位数は、別表第3のとおりとする。

(社会福祉士等の科目)

第10条 社会福祉士試験の受験資格の取得に必要な授業科目の種類及び単位数は、別表第4のとおりとする。

2 精神保健福祉士試験の受験資格の取得に必要な授業科目の種類及び単位数は、別表第5のとおりとする。

3 公認心理師試験の受験資格の取得に必要な大学における授業科目の種類及び単位数は、別表第6のとおりとする。

(公欠)

第11条 次の各号の一に該当する欠席で所定の届出を行った者については、公欠とする。

- (1) 別に定める親族が死亡した場合
- (2) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合
- (3) 当該学生の通学経路における公共交通機関の運休・延着の場合
- (4) 居住地区の天変地異により危険を伴い通学が困難な場合
- (5) 学長が別に定める実習等に参加する場合
- (6) 裁判員制度による裁判員の用務の場合
- (7) その他学長が必要と認める場合

2 公欠は欠席扱いとなる。ただし、試験の受験資格を失わないように配慮される。

(休講及び補講)

第 12 条 各授業科目は、担当教員の公務、出張、病気などにより授業ができないときには休講となることがある。

2 教員は、前項により休講となった授業は原則として補講を行う。

(全学休講)

第 13 条 授業科目は、学長の判断により休講とすることがある。

2 前条第 2 項の規定は、前項の休講においても適用することがある。

(成績評価)

第 14 条 成績評価の方法は、試験結果、授業内で課された試験、レポート等、各担当教員がシラバスにより示した方法による。

2 点数、評語及び合否は、次のとおりとする。

点数	評語	合否
100～90	秀	合格
89～80	優	
79～70	良	
69～60	可	
59～	不可	不合格

3 当該授業の試験を受験しなかった者又は出席回数が各科目担当者の設ける基準を満たさない者の評価は、対象外とする。

4 教育課程における学習到達度を客観的に評価するため、グレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）を算出する。

5 GPA に関して必要な事項は別に定める。

(成績評価に関する質疑)

第 15 条 前条における成績評価に疑義がある場合は、所定の期日までに問い合わせをすることができる。

(試験)

第 16 条 学則第 23 条に基づき、成績評価を行うため、試験を実施する。

2 試験の方法は、当該科目の担当教員が決定する。

(追試験)

第 17 条 前条に規定する試験を、正当な理由により受験できなかった者に対し、追試験を行うことがある。

2 前項に規定する正当な理由は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 病気または負傷
- (2) 交通機関の遅延
- (3) 親族の死亡
- (4) 就職試験
- (5) その他やむを得ない理由として認められるもの

3 追試験を申請できる者は、次の各号に該当する者とする。

- (1) 前項に掲げる各号のいずれかに該当すること。

(2) 追試験を希望する科目の担当教員が追試験の受験を許可していること。

4 追試験を申請する者は、指定する期間内に申請書及び第2項のいずれかに該当する証明書等を提出し、別に定める受験料を納めなければならない。

(再試験)

第18条 卒業要件単位を満たさなかった者に対し、再試験を行うことがある。

2 再試験を受験できる者は次に掲げる各号に該当する者とする。

(1) 卒業要件に満たない単位数が4単位以内であること。

(2) 再試験の対象となる科目の担当教員が再試験の受験を許可していること。

(3) 学生納付金を納めていること。

3 再試験の対象となる科目は、4年次に履修登録を行い不合格であった科目のうちから、不足している単位数を超えない科目とする。

4 再試験を希望する者は、指定する期間内に別に定める受験料を納めなければならない。

(不正行為)

第19条 成績評価にかかわる事項について不正とみなす行為を行った者は、原則、当該科目を不合格とする。ただし、特に学長が悪質な行為とみなす場合は当該期に履修した全ての科目を不合格とする。

2 出席評価にかかわる事項について不正とみなす行為を行った者は、原則、当該科目を不合格とする。

3 前2項に該当する者は、学則第54条の規定に基づき懲戒処分を受けることがある。

(卒業要件)

第20条 卒業要件に係る授業科目及び所定の単位は別表第7のとおりとする。

(庶務)

第21条 この規程の庶務は、教育グループ教育支援担当が担当する。

(その他)

第22条 この規程に定めるもののほか、授業科目の履修等について必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。

2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日に在学していた者で施行日以後も引き続いて在学するものに係る学科、授業科目、履修方法、試験の成績評価、卒業要件及び単位の修得等により得られる資格等は、改正後のこの規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1-1

社会福祉学部 社会福祉学科 教養科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列			授業科目	単 位	必 ・ 選	年次	備考 (卒業所要 単位数)	
基礎 科目 群	語学 リテラシー	英語	Integrated English I	2	◎	1～	4 単 位 必修	基礎 科目 群・ 教養 科目 群から 選択 4 単 位
			Integrated English II	2	◎	1～		
			Writing I	1	○	2～		
			Content-based English A	1	○	2～		
			Writing II	1	○	2～		
			Content-based English B	1	○	2～		
			Presentation in English	1	○	2～		
			Advanced Reading	1	○	2～		
			Media English	1	○	2～		
			English for International Communication I	1	○	3～		
			English for International Communication II	1	○	3～		
	未来 リテラシー	アカデミックライティング	2	○	1～	2 単 位 選択 必修		
		コミュニケーション論	2	○	2～			
		ファシリテーション論	2	○	2～			
		価値創造論	2	○	3～			
		新聞で現代社会を考える	2	○	3～			
		STEAM 教育概論 (SPARC)	1	○	1～			
		こころとからだの健康 (SPARC)	1	○	1～			
		インターンシップ (SPARC)	1	○	3～			
		情報活用型ビジネスソリューション (SPARC)	2	○	2～			
		アントレプレナーシップ入門 (SPARC)	1	○	2～			
	ビジネスとマネジメント (SPARC)	2	○	1～				
	情報 リテラシー	データサイエンス概論	2	○	1～	3 単 位 選択 必修		
		コンピュータリテラシー	2	○	1～			
		プログラミング基礎	2	○	1～			
		データビジュアライゼーション	2	○	2～			
		統計リテラシー (SPARC)	2	○	1～			
		データサイエンスリテラシー (SPARC)	1	登録 必修	1			
	ラ リ 数 シ テ 学	線形代数学概論	2	○	1～	2 単 位		
		確率統計基礎	2	○	1～			

		微分積分学概論	2	○	1～	選択 必修
		コンピュータ数学	2	○	1～	
教 養 科 目 群	リ ベ ラ ル ア ー ツ	日本史概論	2	○	1～	3 単 位 選 択 必 修
		地誌概論	2	○	1～	
		法学概論	2	○	1～	
		現代社会と哲学	2	○	1～	
		現代社会と倫理学	2	○	1～	
		憲法	2	○	1～	
		社会思想史	2	○	1～	
		東洋史概論	2	○	1～	
		西洋史概論	2	○	1～	
		政治学概論	2	○	1～	
		哲学概論	2	○	1～	
		倫理学概論	2	○	1～	
		文化人類学	2	○	1～	
		心理学	2	○	1～	
		スポーツ実技Ⅰ	2	○	1～	
		スポーツ実技Ⅱ	2	○	1～	
		国際文化論	2	○	3～	
		海外研修	2	○	2・3	
		欧米における人権の拡大	2	○	3～	
		近代日本の歩み	2	○	3～	
		歴史の見方	2	○	3～	
		日中関係史	2	○	3～	
		ミクロ経済学入門 (SPARC)	2	○	1～	
		経営組織論 (SPARC)	2	登録 必修	2	
	マクロ経済学入門 (SPARC)	2	○	1～		
	心理学 (SPARC)	2	○	1～		
	経済学概論	2	○	1～		
	地理学概論	2	○	1～		
	科 学 ・ 技 術	生態学	2	○	1～	2 単 位 選 択
		科学技術と社会	2	○	1～	
物理学基礎		2	○	1～		
生活と環境の科学		2	○	1～		
環境法入門 (SPARC)		2	○	1～		
物理学の世界 (SPARC)		2	○	1～		
化学の世界 (SPARC)		2	○	1～		
生物学の世界 (SPARC)		2	○	1～		

	地学の世界 (SPARC)	2	○	1～	必修
	工学入門 (SPARC)	2	○	1～	2 単位 選択 必修
	環境学入門 (SPARC)	2	○	1～	
地域学	信州地域史	2	○	1～	
	信州上田学	2	○	1～	
	メディア芸術論	2	○	2～	
	地域創造論	2	○	3～	
	信州学 (SPARC)	2	登録 必修	1	
	地域課題解析講座 (SPARC)	1	登録 必修	2	
	地域課題 PBL (SPARC)	2	登録 必修	3	
	社会福祉の考え方 (SPARC)	2	2	1～	
	地域と福祉 (SPARC)	2	2	1～	
	立志学 (SPARC)	2	1	1～	
基礎科目群・教養科目群 最低必要単位		必修 4 単位 選択必修 1 6 単位 選択 4 単位 計 2 4 単位			

※ 「登録必修」とは、必ず年度の最初に履修登録し履修するが、単位を取得できなかった場合は次年度以降に選択科目と同じ扱いになる。

## 別表第1-2

## 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 教養科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	授業科目	単位	必・選	年次	備考(卒業所要単位数)
導入科目	課題探求ゼミナールⅠ	2	◎	1	4単位必修
	課題探求ゼミナールⅡ	2	◎	1	
	アカデミックライティング	2	登録必修	1	
	コンピュータ基礎	2	登録必修	1	
論理と思考	線形代数学	2	○	1～	4単位選択必修
	微分積分学	2	○	1～	
	経済学	2	○	1～	
	哲学	2	○	1～	
	哲学概論	2	○	2～	
	憲法	2	○	1～	
	行政法	2	○	2～	
	法学	2	○	1～	
	生態学	2	○	1～	
	淡水生物学実習	2	○	2～	
	生物環境学特別講義	2	○	2～	
	物質科学	2	○	1～	
	民法	2	○	1～	
	環境科学	2	○	1～	
情報保障技術B(要約筆記)	2	○	1～		
身体と感性	心理学	2	○	1～	4単位選択必修
	教育心理学(教育・学校心理学)	2	○	1～	
	人間関係論	2	○	1～	
	倫理学	2	○	1～	
	倫理学概論	2	○	2～	
	メディア芸術論	2	○	1～	
	保健体育講義	2	○	1～	
	障がい者スポーツ指導	2	○	3～	
	音楽療法	2	○	1～	
	身体パフォーマンス	1	○	1～	
スポーツ実技(Ⅰ・Ⅱ)	1	○	1～		
地域と世界	信州上田学	2	○	1～2	4単位選択必修
	信州地域史	2	○	1～	
	地域協働活動(Ⅰ・Ⅱ)	2	○	2～3	
	新聞で現代社会を考える	2	○	1～	
	教育学	2	○	1～	

全系列の中から9単位  
 選択※外国人留学生は  
 11単位選択

	社会学		2	○	1～	
	政治学概論		2	○	1～	
	地誌		2	○	1～	
	地誌概論		2	○	2～	
	東アジア社会論		2	○	2～	
	地球環境論		4	○	1～	
	国際文化		2	○	1～	
	海外研修 (A・B)		2	○	1～	
	社会思想史		2	○	1～	2 単位選択必修
	歴史の見方		2	○	1～	
	日本史		2	○	1～	
	日本史概論		2	○	2～	
	東洋史		2	○	1～	
	東洋史概論		2	○	2～	
	西洋史		2	○	1～	
	西洋史概論		2	○	2～	
	地理学		2	○	1～	
	文化人類学		2	○	1～	
	データサイエンス概論		2	◎	1～	必修
職業と 生き方	職業選択と生き方		2	○	1～	
外国語	英語	基礎英語 I	2	○	1	英語・中国語か ら一言語4単位 必修を含む計8 単位選択必修 (外国人留学生 を除く)
		基礎英語 II	2	○	1	
		英語 (講読) I	1	○	1～	
		英語 (講読) II	1	○	1～	
		英語 (講読) III	1	○	1～	
		英語 (講読) IV	1	○	1～	
		英語 (講読) V	1	○	2～	
		英語 (講読) VI	1	○	2～	
		英語 (会話) I	1	○	1～	
		英語 (会話) II	1	○	1～	
		英語 (会話) III	1	○	1～	
		英語 (会話) IV	1	○	1～	
		英語 (会話) V	1	○	2～	
		英語 (会話) VI	1	○	2～	
	中国語	中国語 I	2	○	1～	
		中国語 II	2	○	1～	
		中国語 III	2	○	2～	
		中国語 IV	2	○	2～	

	中国語（聴解）Ⅴ	1	○	3～	
	中国語（聴解）Ⅵ	1	○	3～	
	中国語（作文）Ⅴ	1	○	3～	
	中国語（作文）Ⅵ	1	○	3～	
ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	2	○	2～	
	ドイツ語Ⅱ	2	○	2～	
韓国語	韓国語Ⅰ	2	○	2～	
	韓国語Ⅱ	2	○	2～	
日本語	日本語Ⅰ	2	◎	1～	(外国人留学生のみ) 6単位必修
	日本語Ⅱ	2	◎	1～	
	日本事情基礎	2	◎	1	
教養科目 最低必要単位	必修 10単位 (112単位)				
※ ( ) 内は外国人留学生の最低必要単位	選択必修 18単位 (114単位)				
	選択 9単位 (11単位) 計37単位 (37単位)				

※「登録必修」とは、必ず年度の最初に履修登録し履修するが、単位を取得できなかった場合は次年度以降に選択必修と同じ扱いになる。

## 別表第1-3

## 企業情報学部 企業情報学科 教養科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	授業科目	単位	必・選	年次	備考(卒業所要単位数)
導入科目	課題発見ゼミナールⅠ	4	◎	1	8単位必修
	課題発見ゼミナールⅡ	4	◎	1	
	アカデミックライティング	2	登録必修	1	
	コンピュータ基礎	2	登録必修	1	
論理と思考	線形代数学	2	○	1～	4単位選択必修
	微分積分学	2	○	1～	
	経済学	2	○	1～	
	哲学	2	○	1～	
	哲学概論	2	○	2～	
	憲法	2	○	1～	
	法学	2	○	1～	
	生態学	2	○	1～	
	淡水生物学実習	2	○	2～	
	生物環境学特別講義	2	○	2～	
	物質科学	2	○	1～	
	民法	2	○	1～	
	環境科学	2	○	1～	
情報保障技術B(要約筆記)	2	○	1～	全系列の中から8単位選択※外国人留学生は10単位選択	
身体と感性	心理学	2	○		1～
	教育心理学(教育・学校心理学)	2	○		1～
	人間関係論	2	○		1～
	倫理学	2	○		1～
	倫理学概論	2	○		2～
	メディア芸術論	2	○		1～
	保健体育講義	2	○		1～
	障がい者スポーツ指導	2	○		3～
	音楽療法	2	○		1～
身体パフォーマンス	1	○	1～		
スポーツ実技(Ⅰ・Ⅱ)	1	○	1～		
地域と世界	信州上田学	2	○		1～2
	信州地域史	2	○	1～	
	地域協働活動(Ⅰ・Ⅱ)	2	○	2～3	
	新聞で現代社会を考える	2	○	1～	
	教育学	2	○	1～	
社会学	2	○	1～		

	政治学概論		2	○	1～	
	地誌		2	○	1～	
	地誌概論		2	○	2～	
	東アジア社会論		2	○	2～	
	地球環境論		4	○	1～	
	国際文化		2	○	1～	
	海外研修 (A・B)		2	○	1～	
歴史と 未来	社会思想史		2	○	1～	2単位選択必修
	歴史の見方		2	○	1～	
	日本史		2	○	1～	
	日本史概論		2	○	2～	
	東洋史		2	○	1～	
	東洋史概論		2	○	2～	
	西洋史		2	○	1～	
	西洋史概論		2	○	2～	
	地理学		2	○	1～	
	地理学概論		2	○	2～	
	文化人類学		2	○	1～	
	データサイエンス概論		2	◎	1～	
	外国語	英語	基礎英語 I	2	○	1
基礎英語 II			2	○	1	
英語 (講読) I			1	○	1～	
英語 (講読) II			1	○	1～	
英語 (講読) III			1	○	1～	
英語 (講読) IV			1	○	1～	
英語 (講読) V			1	○	2～	
英語 (講読) VI			1	○	2～	
英語 (会話) I			1	○	1～	
英語 (会話) II			1	○	1～	
英語 (会話) III			1	○	1～	
英語 (会話) IV			1	○	1～	
英語 (会話) V			1	○	2～	
英語 (会話) VI		1	○	2～		
中国語		中国語 I	2	○	1～	
		中国語 II	2	○	1～	
		中国語 III	2	○	2～	
		中国語 IV	2	○	2～	
		中国語 (聴解) V	1	○	3～	
	中国語 (聴解) VI	1	○	3～		

	中国語（作文）Ⅴ	1	○	3～		
	中国語（作文）Ⅵ	1	○	3～		
ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	2	○	2～		
	ドイツ語Ⅱ	2	○	2～		
韓国語	韓国語Ⅰ	2	○	2～		
	韓国語Ⅱ	2	○	2～		
日本語	日本語Ⅰ	2	◎	1～	(外国人留学生のみ) 6単位必修	
	日本語Ⅱ	2	◎	1～		
	日本事情基礎	2	◎	1		
教養科目 最低必要単位		必修 14単位 (16単位)				
※ ( ) 内は外国人留学生の最低必要単位		選択必修 18単位 (14単位)				
		選択 8単位 (10単位) 計40単位 (40単位)				

※「登録選択」とは、必ず年度の最初に履修登録し履修するが、単位を取得できなかった場合は次年度以降に選択科目と同じ扱いになる。

## 別表第1-4

## 地域経営学部地域経営学科 教養科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列		授業科目	単位	必 ・ 選	年次	備考 (卒業所要 単位数)		
基礎科目群	語学リテラシー	英語	Integrated English I	2	◎	1～	4単位 必修	基礎科目群・教養科目群から選択4単位
			Integrated English II	2	◎	1～		
			Writing I	1	○	2～	4単位 選択 必修	
			Content-based English A	1	○	2～		
			Writing II	1	○	2～		
			Content-based English B	1	○	2～		
		Presentation in English	1	○	2～			
		Advanced Reading	1	○	2～			
		Media English	1	○	2～			
		English for International Communication I	1	○	3～			
		English for International Communication II	1	○	3～			
		中国語	中国語初級	2	○	2～		
	中国語中級		2	○	2～			
	中国語実践 I		2	○	3～			
	中国語実践 II		2	○	3～			
	未来リテラシー	アカデミックライティング	2	○	1～	2単位 選択 必修		
		コミュニケーション論	2	○	2～			
		ファシリテーション論	2	○	2～			
		価値創造論	2	○	3～			
		新聞で現代社会を考える	2	○	3～			
	情報リテラシー	データサイエンス概論	2	◎	1	2単位 必修		
		コンピュータリテラシー	2	○	1～	2単位 選択 必修		
		プログラミング基礎	2	○	1～			
		データビジュアライゼーション	2	○	2～			
	I 数学リテラシ	線形代数学概論	2	○	1～	2単位 選択 必修		
		確率統計基礎	2	○	1～			
微分積分学概論		2	○	1～				
コンピュータ数学		2	○	1～				

教養科目群	リベラルアーツ	日本史概論	2	○	1～	10 単位 選択 必修
		地誌概論	2	○	1～	
		法学概論	2	○	1～	
		現代社会と哲学	2	○	1～	
		現代社会と倫理学	2	○	1～	
		憲法	2	○	1～	
		社会思想史	2	○	1～	
		東洋史概論	2	○	1～	
		西洋史概論	2	○	1～	
		政治学概論	2	○	1～	
		哲学概論	2	○	1～	
		倫理学概論	2	○	1～	
		文化人類学	2	○	1～	
		心理学	2	○	1～	
		スポーツ実技 I	2	○	1～	
		スポーツ実技 II	2	○	1～	
		国際文化論	2	○	3～	
		海外研修	2	○	2・3	
		欧米における人権の拡大	2	○	3～	
		近代日本の歩み	2	○	3～	
	歴史の見方	2	○	3～		
	日中関係史	2	○	3～		
	科学・技術	生態学	2	○	1～	2 単位 選択 必修
		科学技術と社会	2	○	1～	
物理学基礎		2	○	1～		
生活と環境の科学		2	○	1～		
地域学	信州地域史	2	○	1～	2 単位 選択 必修	
	信州上田学	2	○	1～		
	メディア芸術論	2	○	2～		
	地域創造論	2	○	3～		
基礎科目群・教養科目群 最低必要単位		必修	6 単位			
		選択必修	2 4 単位			
		選択	4 単位			
		計	3 4 単位			

※ 「登録必修」とは、必ず年度の最初に履修登録し履修するが、単位を取得できなかった場合は次年度以降に選択科目と同じ扱いになる。

別表第1-5

共創情報科学部共創情報科学科 教養科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列		授業科目	単位	必・選	年次	備考 (卒業所要 単位数)		
基礎科目群	語学リテラシー	英語	Integrated English I	2	◎	1～	4単位 必修	基礎科目群・教養科目群から選択6単位
			Integrated English II	2	◎	1～		
			Writing I	1	○	2～	4単位 選択 必修	
			Content-based English A	1	○	2～		
			Writing II	1	○	2～		
			Content-based English B	1	○	2～		
			Presentation in English	1	○	2～		
			Advanced Reading	1	○	2～		
			Media English	1	○	2～		
			English for International Communication I	1	○	3～		
			English for International Communication II	1	○	3～		
			中国語	中国語初級	2	○		
	中国語中級	2		○	2～			
	中国語実践 I	2		○	3～			
	中国語実践 II	2		○	3～			
	未来リテラシー	価値創造論	2	◎	3～	2単位 必修		
		アカデミックライティング	2	○	1～			
		コミュニケーション論	2	○	2～			
		ファシリテーション論	2	○	2～			
		新聞で現代社会を考える	2	○	3～			
	情報リテラシー	データサイエンス概論	2	◎	1	2単位 必修		
		コンピュータリテラシー	2	○	1～	2単位		
		プログラミング基礎	2	○	1～	選択		
		データビジュアライゼーション	2	○	2～	必修		
	数学リテ	線形代数学概論	2	○	1～	2単位		
		確率統計基礎	2	○	1～	選択		
		微分積分学概論	2	○	1～	必修		

教養科目群	リベラルアーツ	コンピュータ数学	2	○	1～	2単位 選択 必修
		日本史概論	2	○	1～	
		地誌概論	2	○	1～	
		法学概論	2	○	1～	
		現代社会と哲学	2	○	1～	
		現代社会と倫理学	2	○	1～	
		憲法	2	○	1～	
		社会思想史	2	○	1～	
		東洋史概論	2	○	1～	
		西洋史概論	2	○	1～	
		政治学概論	2	○	1～	
		哲学概論	2	○	1～	
		倫理学概論	2	○	1～	
		文化人類学	2	○	1～	
		心理学	2	○	1～	
		スポーツ実技 I	2	○	1～	
		スポーツ実技 II	2	○	1～	
		国際文化論	2	○	3～	
		海外研修	2	○	2・3	
		欧米における人権の拡大	2	○	3～	
		近代日本の歩み	2	○	3～	
		歴史の見方	2	○	3～	
	日中関係史	2	○	3～		
	科学・技術	生態学	2	○	1～	2単位 選択 必修
		科学技術と社会	2	○	1～	
		物理学基礎	2	○	1～	
		生活と環境の科学	2	○	1～	
	地域学	信州地域史	2	○	1～	2単位 選択 必修
		信州上田学	2	○	1～	
		メディア芸術論	2	○	2～	
		地域創造論	2	○	3～	
	基礎科目群・教養科目群 最低必要単位		必修	8単位		
			選択必修	14単位		
		選択	6単位			
		計	28単位			

※ 「登録必修」とは、必ず年度の最初に履修登録し履修するが、単位を取得できなかった場合は次年度以降に選択科目と同じ扱いになる。

別表第2-1

社会福祉学部 社会福祉学科 専門教育科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	授業科目	単位	必・選	年次	備考(卒業所要単位数)	
専門科目群	人間と社会の理解	4	◎	1～	12 単位必修・8 単位選択必修	
	社会福祉の視点と方法	2	◎	1～		
	福祉の仕事	2	◎	1～		
	社会保障 I	2	◎	2～		
	社会福祉調査の基礎	2	○	1～		
	社会学と社会システム	2	○	1～		
	人体の構造と機能及び疾病	2	○	1～		
	社会福祉の原理と政策 I	2	○	2～		
	地域福祉と包括的支援体制 I	2	○	2～		
	精神保健福祉の原理 I	2	○	2～		
	現代の精神保健の課題と支援 I	2	○	2～		
	心理学と心理的支援	2	○	1～		
	心理学概論 I	2	○	1～		
	発達心理学	2	○	1～		
	障害入門(発達支援学入門)	2	◎	1～		
	教育学概論	2	○	1～		
	発達障害教育総論	2	○	1～		
	専門基礎科目(基盤)	ボランティア論とその活動	2	○	1～	8 単位選択必修
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2	○	2～	
		ソーシャルワークの基盤と専門職 II	2	○	2～	
		高齢者福祉	2	○	1～	
		児童・家庭福祉	2	○	1～	
		障害者福祉	2	○	1～	
		貧困に対する支援	2	○	2～	
		社会的養護	2	○	2～	
居住福祉論		2	○	2～		
教育心理学(教育・学校心理学)		2	○	1～		
学校心理学(教育・学校心理学)		2	○	2～		
学習心理学(学習・言語心理学)		2	○	2～		
心理学統計法 I		2	○	1～		
心理学統計法 II		2	○	1～		
心理学研究法		2	○	2～		
人間関係論	2	○	1～			
障害児療育支援	2	○	1～			

	自立活動の理論と実際	2	○	1～					
	社会福祉発達史A	2	○	2～					
	社会福祉発達史B	2	○	2～					
	福祉用具の知識	2	○	2～					
	社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）	2	○	1～					
	家族心理学（社会・集団・家族心理学）	2	○	1～					
	精神疾患とその治療Ⅰ	2	○	2～					
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	○	2～					
専門科目 (共通)	社会保障Ⅱ	2	◎	2～	22単位必修・8単位選択必修	専門科目から16単位選択			
	社会福祉学研究入門Ⅰ	2	◎	3～					
	社会福祉学研究入門Ⅱ	2	◎	3～					
	専門ゼミナールⅠ	4	◎	3					
	専門ゼミナールⅡ	4	◎	4					
	卒業研究と論文	8	◎	4					
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	○	2～					
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	○	2～					
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	○	2～					
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	○	2～					
	心理学概論Ⅱ	2	○	1～					
	障害者・障害児心理学	2	○	3～					
	視覚障害教育総論	2	○	3～					
	聴覚・言語障害教育総論	2	○	3～					
	重複障害教育総論	2	○	3～					
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	○	2～					
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	○	2～					
	専門科目 (展開)	保健医療と福祉	2	○			3～	8単位選択必修	
		刑事司法と福祉	2	○			3～		
権利擁護を支える法制度		2	○	3～					
社会福祉政策		2	○	3～					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		1	○	3～					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		1	○	3～					
福祉住環境論		2	○	2～					
リハビリテーション論		2	○	2～					
福祉サービスの組織と経営		2	○	3～					
自治体福祉行政実務論（隔年開講）		2	○	3～					
精神障害リハビリテーション論		2	○	3～					
ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅰ		2	○	3～					
ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅱ		1	○	4					
精神保健福祉制度論		2	○	4					

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	○	2～
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	○	3～
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	○	3～
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	○	2～
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	○	2～
ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	○	3～
ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	○	3～
ソーシャルワーク演習Ⅴ	1	○	3～
ソーシャルワーク実習Ⅰ	1	○	2～
ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	○	3～
ソーシャルワーク応用実習	2	○	4
ソーシャルワーク応用実習指導	1	○	4
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	○	3～
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	○	4
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	○	4
精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	○	3～
精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	○	4
精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	○	4
精神保健福祉援助実習Ⅰ	2	○	3～
精神保健福祉援助実習Ⅱ	2	○	4
臨床心理学概論Ⅰ	2	○	2～
臨床心理学概論Ⅱ	2	○	2～
心理的アセスメント	2	○	2～
心理学的支援法	2	○	3～
言語心理学（学習・言語心理学）	2	○	2～
神経心理学（神経・生理心理学）	2	○	2～
知覚・認知心理学	2	○	2～
感情・人格心理学	2	○	3～
健康・医療心理学	2	○	3～
福祉心理学	2	○	3～
産業・組織心理学	2	○	3～
司法・犯罪心理学	2	○	3～
生理心理学（神経・生理心理学）	2	○	3～
心理調査概論	2	○	2
心理学実験Ⅰ	2	○	2
心理学実験Ⅱ	2	○	2
心理演習	2	○	3～
心理実習	4	○	4
応用心理調査実習	4	○	3～

	公認心理師の職責	2	○	3～
	関係行政論	2	○	3～
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	○	2
	知的障害者の心理・生理・病理	2	○	2
	発達障害自立活動演習	2	○	3～
	発達診断の理論と方法	2	○	3～
	教育のユニバーサルデザインと授業作り	2	○	3～
	社会福祉発達史C	2	○	3～
専門科目群 最低必要単位数	必修			3 4 単位
	選択必修			3 2 単位
	選択（専門基礎科目）			8 単位
	選択（専門科目）			1 6 単位
	選択（専門基礎・専門科目）			1 0 単位
	計			1 0 0 単位

別表第2-2

環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 専門教育科目表

注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	授業科目	単位	必・選	年次	備考					
専門基礎科目	地域社会学	2	◎	1～	必修					
	地域環境概論	2	◎	1～						
	観光概論	2	◎	1～						
		まちづくりの社会学	2	○	1～	4単位 選択必修	専門教育科目 全系列か	教養科目・専門教育科目から28単位選択		
		まちづくりの政治学	2	○	2～					
		経済学概論	2	○	2～					
		地理学概論	2	○	2～					
		国際社会学	2	○	1～					
専門基礎科目	地域マネジメント	地域政策と地域づくり	2	○	1～				6単位 選択必修	ら18単位選択
		地産地消論	2	○	1～					
		男女共生の地域づくり	2	○	2～					
		地方自治論	2	○	2～					
		地方財政論	2	○	2～					
		行政法	2	○	2～					
		行政学	2	○	2～					
		持続可能な地域経済	2	○	2～					
		非営利事業論	2	○	2～					
		まちづくりマネジメント論	2	○	2～					
		コミュニティデザイン論	2	○	2～					
		地域イノベーション論	2	○	2～					
		社会調査	社会調査論	4	○	1～	6単位 選択必修			
	統計学		2	○	2～					
統計解析法	2		○	2～						
社会統計法	2		○	2～						
社会調査法	2		○	2～						
地域調査演習	6		○	3～						
専門展開科目	観光専門	観光文化論	2	○	2～	4単位 選択必修				
		観光政策論	2	○	3～					
		持続可能なツーリズム	2	○	2～					
		観光と地域ビジネス	2	○	2～					
		地域交通論	2	○	2～					
		観光まちづくり事業論	4	○	2～					
		食文化産業とまちづくり	2	○	2～					
	観光まちづくり演習 (I・II)	4	○	2～						
環	持続可能性科学	2	○	2～	4単位					

環境 専門	環境経済学	2	○	2～	選択必 修
	環境政策論	2	○	2～	
	エコキャンパス論	2	○	2～	
	環境マネジメント論	2	○	2～	
	環境教育論	2	○	2～	
	里山再生論	2	○	2～	
	保全生態学	2	○	2～	
	自然エネルギー論	2	○	2～	
	自然調査演習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） （隔週開講）	4	○	1～	
職業観 養成科 目	情報と職業	2	○	2～	
	キャリアデザイン論	2	○	2・3	
	職業観養成特別講義A	2	○	2～	
	若者と労働	2	○	2～	
	インターンシップ（Ⅰ・Ⅱ）	4	○	3～	
	公務員特別コース・ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ）	4	○	2・3	
	国際キャリア（英語）ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ・Ⅳ）	4	○	1～	
	国際キャリア（中国語）ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ・Ⅳ）	4	○	1～	
演習科 目	専門ゼミナールⅠ	4	◎	2～	必修
	専門ゼミナールⅡ	4	◎	3～	
	卒業研究ゼミナール	4	◎	4	
	専門ゼミナールA・B・C	4	○	2～	
	フィールド・実習ゼミナールⅠ	4	○	2～	
	フィールド・実習ゼミナールⅡ	4	○	2～	
	フィールド・実習ゼミナールⅢ	4	○	2～	
関連科 目	経営学概論	4	○	2～	
	企業会計論	2	○	1～	
	簿記	2	○	2～	
	戦略経営論	2	○	2～	
	市場戦略論A（マーケティング論）	2	○	2～	
	市場戦略論B（競争戦略論）	2	○	2～	
	中小企業論	2	○	2～	
	質的調査法	2	○	2～	
	商業と流通	2	○	2～	
専門教育科目 最低必要単位		必修 14単位 選択必修 28単位 選択 18単位 計 60単位			

## 別表第2-3

## 企業情報学部 企業情報学科 専門教育科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	授業科目	単位	必・選	年次	備考(卒業所要 単位数)	
専門基礎	経営学概論	4	登録必修	2～	4単位選 択必修	教養科 目・専 門教育 科目か ら23単 位選択
	情報学概論Ⅰ	2	登録必修	1～		
	情報学概論Ⅱ	2	登録必修	2～		
	デザイン概論	4	登録必修	1～		
専門共通科 目	経済学概論	2	○	2～	12単位 選択必 修	
	質的調査法	2	○	2～		
	インターネット・ビジネス論	2	○	2～		
	オペレーションズ・マネジメント論	2	○	1～		
	ネットワーク社会論	2	○	2～		
	離散数学	2	○	1～		
	情報数学	2	○	2～		
	統計学	2	○	2～		
	情報処理概論	2	○	2～		
	基礎プログラミング	4	○	1～		
	ソフトウェア開発論	4	○	2～		
	デザイン科学	2	○	2～		
	地域情報メディア論	2	○	1～		
クラス ター科 目	経営	地域イノベーション論	2	○	2～	16単位 選択必 修
		経営情報システム論	2	○	2～	
		人的資源管理論	2	○	2～	
		簿記	2	○	1～	
		戦略経営論	2	○	2～	
		市場戦略論A(マーケティング論)	2	○	2～	
		市場戦略論B(競争戦略論)	2	○	2～	
		中小企業論	2	○	2～	
		商業と流通	2	○	2～	
		企業会計論	2	○	1～	
	情報	アルゴリズムとデータ構造	4	○	2～	
		アルゴリズムとデータ構造A	2	○	2～	
		アルゴリズムとデータ構造B	2	○	2～	
		コンピュータアーキテクチャ	2	○	2～	
		ネットワーク構築論	2	○	2～	
		データベース論	4	○	2～	
		データベース論A	2	○	2～	

	データベース論B	2	○	2～	
	データサイエンス論	2	○	2～	
	情報セキュリティ	2	○	2～	
	応用プログラミング	4	○	2～	
	プログラミング言語論	2	○	2～	
	オペレーティングシステム	2	○	2～	
	ネットワークプログラミング	2	○	2～	
デザイン	メディアプランニング論	2	○	1～	
	情報通信文化論	2	○	1～	
	マルチメディア論	2	○	1～	
	コンピュータグラフィックス	2	○	2～	
	コンピュータビジョン	2	○	2～	
	画像処理論	2	○	2～	
	デジタル映像表現	2	○	1～	
	情報デザイン	2	○	2～	
	プロダクトデザイン	2	○	2～	
	色彩学	2	○	2～	
職業観養成科目	職業選択と生き方	2	登録必修	1	6単位選択必修
	情報と職業	2	○	2～	
	キャリアデザイン論	2	○	2・3	
	職業観養成特別講義A	2	○	2～	
	若者と労働	2	○	2～	
	インターンシップ（Ⅰ・Ⅱ）	4	○	3～	
	公務員特別コースゼミナール（Ⅰ・Ⅱ）	4	○	2・3	
	国際キャリア（英語）ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）	4	○	1～	
国際キャリア（中国語）ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）	4	○	1～		
プロジェクト型科目	プロジェクト研究Ⅰ	8	◎	2～	24単位必修
	プロジェクト研究Ⅱ	8	◎	3～	
	プロジェクト研究Ⅲ	8	◎	4	
	プロジェクト研究A・B・C	8	○	2～	
	卒業研究	8	○	4	
関連科目	政治学概論	2	○	2～	
	行政法	2	○	2～	
	地方自治論	2	○	2～	
	知的財産権	2	○	2～	
	環境マネジメント論	2	○	2～	
専門教育科目	最低必要単位	必修 24(24)単位			

選択必修 38(38)単位 計 62(62)単位
-----------------------------

別表第2-4

地域経営学部 地域経営学科 専門教育科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列	科目名	単 位	必 ・ 選	年次	備考 (卒業所要単位数)						
専門科目群	専門基礎	経済学概論	4	◎	1～	12 単位必修	専門科目群の中から6 単位選択				
		社会学概論	4	◎	1～						
		経営学概論	4	◎	2～						
	専門基幹科目	経営イノベーション領域	戦略経営論	2	◎	2～		2 単位必修			
			競争戦略論	2	○	2～		22 単位選択必修※			
			色彩科学	2	○	2～					
			プロダクトデザイン	2	○	2～					
			情報デザイン	2	○	2～					
			産業とソフトウェア	2	○	2～					
			地域情報メディア論	2	○	2～					
			マーケティング論	2	○	2～					
			ビジネスとCG	2	○	2～					
			観光と地域ビジネス	2	○	2～					
			e コマース論	2	○	2～					
			産業と画像	2	○	3～					
			アプリビジネス論	2	○	3～					
			デザインマネジメント	2	○	3～					
			商業と流通	2	○	3～					
			組織マネジメント領域		人的資源管理論	2			◎	2～	2 単位必修
					簿記	2			○	2～	
経営情報論	2	○			2～						
データベース論	2	○			2～						
データサイエンス論	2	○			2～						
経営組織論	2	○			2～						
中小企業論	2	○			2～						
男女共生の地域づくり	2	○			2～						
財務会計論	2	○			2～						
非営利組織論	2	○			3～						

	雇用関係論	2	○	3～	
	CSR	2	○	3～	
環境ツーリズム領域	観光経営論	2	◎	2～	2単位 必修
	観光学	2	○	2～	
	観光事業論	2	○	2～	
	地理学	2	○	2～	
	自然エネルギー論	2	○	2～	
	地域環境論	2	○	2～	
	環境教育論	2	○	2～	
	環境社会学	2	○	2～	
	観光地理学	2	○	2～	
	持続可能な地域づくり論	2	○	2～	
	景観計画論	2	○	2～	
	自然調査演習	4	○	2～	
	里山再生論	2	○	3～	
	景観アセスメント論	2	○	3～	
	保全生態学	2	○	3～	
地域公共政策領域	地域社会学	2	◎	2～	2単位 必修
	国際社会学	2	○	2～	
	地方自治論	2	○	2～	
	地域イノベーション論	2	○	2～	
	コミュニティ・デザイン論	2	○	2～	
	環境政策論	2	○	2～	
	行政学	2	○	2～	
	地方財政論	2	○	2～	
	地域交通論	2	○	2～	
	地域経済学	2	○	2～	
	地産地消論	2	○	3～	
	公共政策論	2	○	3～	
	都市計画論	2	○	3～	
	観光政策論	2	○	3～	
調査・分析系科目	社会調査論	4	◎	1～	4単位必修
	社会統計法	2	○	2～	2単位選択必 修
	統計学	2	○	2～	
	社会調査法	2	○	2～	
	統計解析法	2	○	2～	
	多変量解析	2	○	2～	

	質的調査法	2	○	2～	
	地域調査演習	4	○	3～	
	組織調査演習	4	○	3～	
ゼミナール科目・プロジェクト	課題探求ゼミナールⅠ	4	◎	1	32 単位選択 必修
	課題探求ゼミナールⅡ	4	◎	1	
	プロジェクト研究Ⅰ	8	◎	2	
	プロジェクト研究Ⅱ	8	◎	3	
	卒業研究	8	◎	4	
科目 キャリア	職業選択と生き方	2	○	1～	4 単位選択必修
	キャリアデザイン論	2	○	2～	
	若者と労働	2	○	2～	
	地域社会と生き方演習	4	○	2・3	
専門科目群 最低必要単位数		必修		56 単位	
		選択必修		28 単位	
		選択		6 単位	
		計		90 単位	

※専門基幹科目で修得する 30 単位の内訳は、経営イノベーションコースは、「経営イノベーション領域」「組織マネジメント領域」から 20 単位、「環境ツーリズム領域」「地域公共政策領域」から 10 単位、また、地域サステナビリティコースは、「環境ツーリズム領域」「地域公共政策領域」から 20 単位、「経営イノベーション領域」「組織マネジメント領域」から 10 単位とする。

別表第2-5

共創情報科学部 共創情報科学科 専門教育科目表

(注) ◎必修科目 ○選択科目

系列			科目名	単位	必 ・ 選	年次	備考 (卒業所要 単位数)	
専門科目群	専門基礎科目	共創システム	共創情報科学概論	2	◎	1～	10 単位必修・8 単位選択必修 注1	専門科目群から 選択44単位
			人工知能概論	2	◎	2～		
			自然環境評価論	2	◎	2～		
			技術者倫理	2	◎	3～		
			社会心理学	2	○	1～		
			共創情報科学基礎演習	2	◎	1～		
			共創情報科学演習 (ものづくり実験)	2	○	2～		
			共創情報科学演習 (UX)	2	○	2～		
			共創情報科学演習 (GX実験)	2	○	2～		
			コンピュータのための心理学	2	○	2～		
			感性マネジメント	2	○	2～		
			行動科学とデータ	2	○	2～		
			数理意思決定論	2	○	2～		
			アントレプレナーシップ実習	2	○	2～		
			キャリアデザイン	2	○	2～		
			マーケティング・リサーチ	2	○	3～		
			インターンシップ	2	○	3～		
			イノベーション創造演習	2	○	3～		
			知的財産権論	2	○	3～		
			社会人力	2	○	3～		
	数学・物理	線形代数学	2	◎	1～	4 単 位 必修		
		微分積分学	2	◎	2～			
		物理学	2	○	1～	2 単 位 選択 必修		
		確率統計	2	○	2～			
		計画数学	2	○	2～			
		離散数学	2	○	2～			
		応用数学	2	○	2～			
		動的システム論	2	○	3～			
ファジィ理論	2	○	3～					

	知能基礎	コンピュータサイエンス	2	◎	1～	2 単 位 必修
		電気電子回路	2	○	1～	2 単 位 選 択 必 修 注 2
		人工知能のための物理学	2	○	1～	
		人工知能演習	2	○	2～	
		コンピュータシステム	2	○	2～	
		コンピュータシステム演習	2	○	2～	
		アルゴリズムとデータ構造	2	○	3～	
		記号論理学	2	○	3～	
	デザイン基礎	HCD概論	2	◎	1～	2 単 位 必修
		情報デザイン基礎	2	○	1～	2 単 位 選 択 必 修 注 2
		統合デザイン演習	2	○	1～2	
		デザイン史	2	○	1～	
		発想法	2	○	1～	
		3Dモデリング基礎	2	○	1～	
		造形論	2	○	2～	
		色彩論	2	○	2～	
		機能デザイン	2	○	2～	
		人間工学	2	○	3～	
	環境基礎	生物多様性概論	2	◎	1～	2 単 位 必修
自然環境概論		2	○	1～	2 単 位 選 択 必 修 注 2	
持続可能性科学		2	○	1～		
地理情報システム		2	○	2～		
環境工学		2	○	2～		
統計解析法		2	○	2～		
スマート農業概論		2	○	2～		
環境経済		2	○	2～		
環境マネジメント論		2	○	3～		
気候変動適応論		2	○	3～		
流域環境学		2	○	3～		
専門基幹	知能科学	情報ネットワーク	2	○	2～	2 単 位 選 択
		センシング技術	2	○	2～	
		深層学習 I	2	○	2～	

		パターン認識とメディア処理	2	○	3～	必修 注2
		数値計算法	2	○	3～	
		深層学習Ⅱ	2	○	3～	
		情報セキュリティ	2	○	3～	
		サイバーフィジカルシステム	2	○	3～	
	デザイン科学	情報デザイン	2	○	1～	2単位 選択 必修 注2, 注3
		UI/UXデザイン	2	○	2～	
		情報デザイン演習	2	○	2～	
		サービスデザイン	2	○	2～	
		デザインマネジメント	2	○	3～	
		デザイン特別演習Ⅰ	2	○	3～	
		デザインエンジニアリング	2	○	3～	
		デザインシンキング	2	○	3～	
		プロモーション計画論	2	○	3～	
		デザイン特別演習Ⅱ	2	○	3～	
	環境科学	フィールド研究計画法	2	○	2～	2単位 選択 必修
		環境センシング演習	2	○	2～	
		森林環境学	2	○	2～	
		生物環境気象学	2	○	2～	
		資源循環論	2	○	3～	
		環境社会学	2	○	3～	
		野生動物管理学	2	○	3～	
		地形学	2	○	3～	
	自然環境情報学	2	○	3～		
	地域連携	地域共創演習Ⅰ	2	◎	3	4単位 必修
		地域共創演習Ⅱ	2	◎	3	
	研究	卒業研究Ⅰ	4	◎	4	8単位 必修
		卒業研究Ⅱ	4	◎	4	
専門科目群 最低必要単位数			必修	32単位		
			選択必修	26単位		
			選択	38単位		
			計	96単位		

注1 6単位選択必修の内、「共創情報科学演習」から2単位選択必修とする。

注2 知能コースは「知能基礎」から6単位(2単位必修、4単位選択必修)、「知能科学」から6単位選択必修、デザインコースは「デザイン基礎」から6単位(2単位必修、4単位選択必修)、「デザイン科学」から6単位選択必修、環境コースは「環境基礎」から6単位(2単位必修、4単位選択必修)、「環境科学」から6単位選択必修とする。

注3 知能コース、環境コースは「情報デザイン演習」「デザイン特別演習Ⅰ」「デザイン特別演習Ⅱ」を履修できない。

別表第3-1-1

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

環境ツーリズム学部：中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授業科目	単位	履修基準	取得年次
日本国憲法	2	憲法	2	◎	1～
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	1	◎	1～
		スポーツ実技Ⅱ	1	◎	1～
外国語コミュニケーション	2	基礎英語Ⅰ	2	1科目以上 2単位◎	1～
		基礎英語Ⅱ	2		1～
		英語（会話）Ⅰ	1		1～
		英語（会話）Ⅱ	1		1～
		英語（会話）Ⅲ	1		1～
		英語（会話）Ⅳ	1		1～
		英語（会話）Ⅴ	1		2～
		英語（会話）Ⅵ	1		2～
		ドイツ語Ⅰ	2		1～
		中国語Ⅰ	2		1～
		韓国語Ⅰ	2		1～
数理、データ活用及び人工智能に関する科目	2	データサイエンス概論	2	◎	1

別表第3-1-2

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

企業情報学部：高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授業科目	単位	履修基準	取得年次
日本国憲法	2	憲法	2	◎	1～
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	1	◎	1～
		スポーツ実技Ⅱ	1	◎	1～
外国語コミュニケーション	2	基礎英語Ⅰ	2	1科目以上2 単位◎	1～
		基礎英語Ⅱ	2		1～
		英語（会話）Ⅰ	1		1～
		英語（会話）Ⅱ	1		1～
		英語（会話）Ⅲ	1		1～
		英語（会話）Ⅳ	1		1～
		英語（会話）Ⅴ	1		2～
		英語（会話）Ⅵ	1		2～
		ドイツ語Ⅰ	2		1～
		中国語Ⅰ	2		1～
		韓国語Ⅰ	2		1～
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	データサイエンス概論	2	◎	1

別表第 3-2-1

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

社会福祉学部：中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授業科目	単位	履修基準	取得年次
日本国憲法	2	憲法	2	◎	1～
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	1	◎	1～
		スポーツ実技Ⅱ	1	◎	1～
外国語コミュニケーション	2	Integrated English I	2	◎	1～
数理、データ活用及び人口知能に関する科目	2	データサイエンス概論	2	◎	1～

別表第 3-2-2

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

地域経営学部：中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授業科目	単位	履修基準	取得年次
日本国憲法	2	憲法	2	◎	1～
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	1	◎	1～
		スポーツ実技Ⅱ	1	◎	1～
外国語コミュニケーション	2	Integrated English I	2	◎	1～
数理、データ活用及び人口知能に関する科目	2	データサイエンス概論	2	◎	1

別表第 3-2-3

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

共創情報科学部：高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授業科目	単位	履修基準	取得年次
日本国憲法	2	憲法	2	◎	1～
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	1	◎	1～
		スポーツ実技Ⅱ	1	◎	1～
外国語コミュニケーション	2	Integrated English I	2	◎	1～
数理、データ活用及び人口知能に関する科目	2	データサイエンス概論	2	◎	1～

別表第 3-3

環境ツーリズム学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：34単位）

◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	1以上	日本史概論	2	◎	2～	最低修得単位28単位を含む)ただし、本学では34単位	大学が独自に設定する科目から4単位
				日本史	2	○	1～		
				東洋史概論	2	◎	2～		
				東洋史	2	○	1～		
				西洋史概論	2	◎	2～		
				西洋史	2	○	1～		
				社会思想史	2	○	1～		
		歴史の見方	2	○	1～				
		地理学（地誌を含む）	1以上	地理学概論	2	◎	2～		
				地理学	2	◎	1～		
				地誌概論	2	◎	2～		
				地誌	2	○	1～		
				観光文化論	2	○	2～		
		「法学、政治学」	1以上	法学	2	◎	1～		
	地方自治論			2	○	2～			
	政治学概論			2	◎	1～			
	行政法			2	○	1～			
	「社会学、経済学」	1以上	地域社会学	2	○	1～			
			地域環境概論	2	○	1～			
			社会調査論	4	○	1～			
			まちづくりの社会学	2	◎	1～			
			経済学概論	2	◎	2～			
			国際社会学	2	○	1～			
			地域政策と地域づくり	2	○	1～			
			持続可能な地域経済	2	○	2～			
	「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	哲学概論	2	◎	2～			
			哲学	2	○	1～			
			倫理学概論	2	◎	2～			
			倫理学	2	○	1～			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	8以上	社会科指導法基礎☆	2	◎	1			
			社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～			
			社会科・地歴科教育法B☆	2	◎	2～			

む。)	社会科・公民科教育法A☆	2	◎	2～		
	社会科・公民科教育法B☆	2	◎	2～		

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第3-4

環境ツーリズム学部：高等学校教諭一種免許状（公民）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数
教科	教科に関する事項	法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）		科目	単位	履修基準		
教科及び教科の指導法に関する科目	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	1以上	法学	2	◎	1～	最低所得所要単位24単位（必修を含む）	大学が独自に設定する科目から12単位
			民法	2	◎	1～		
			地方自治論	2	○	2～		
			政治学概論	2	○	1～		
			行政学	2	○	2～		
	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	1以上	地域社会学	2	○	1～		
			地域環境概論	2	○	1～		
			社会調査論	4	○	1～		
			まちづくりの社会学	2	◎	1～		
			経済学概論	2	◎	2～		
			国際社会学	2	○	1～		
			地域政策と地域づくり	2	○	1～		
			持続可能な地域経済	2	○	2～		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1以上	哲学概論	2	◎	2～		
			哲学	2	○	1～		
			倫理学概論	2	◎	2～		
			倫理学	2	○	1～		
			心理学	2	○	1～		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	社会科・公民科教育法A☆	2	◎	2～		
			社会科・公民科教育法B☆	2	◎	2～		

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第 3-5

環境ツーリズム学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

(注) ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	1以上	日本史概論	2	◎	2～	最低修得単位24単位(必修を含む)	大学が独自に設定する科目から12単位	
			日本史	2	○	1～			
			歴史の見方	2	○	1～			
	外国史	1以上	東洋史概論	2	◎	2～			
			東洋史	2	○	1～			
			西洋史概論	2	◎	2～			
			西洋史	2	○	1～			
			社会思想史	2	○	1～			
			東アジア社会論	2	○	2～			
	人文地理学・自然地理学	1以上	地理学	2	◎	1～			
			地理学概論	2	○	2～			
			観光文化論	2	○	2～			
	地誌	1以上	地誌	2	○	1～			
			地誌概論	2	◎	2～			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～			
社会科・地歴科教育法B☆			2	◎	2～				

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部並びに地域経営学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第 3-6

企業情報学部：高等学校教諭一種免許状（情報）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数	
		科目	単位	履修取得基準 年次			
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	1以上	ネットワーク社会論	2	◎	2～	最低修得単位数 24単位 （必修を含む） 12単位
			情報と職業	2	◎	2～	
	コンピュータ・情報処理	1以上	情報処理概論	2	◎	2～	
			オペレーティングシステム	2	○	2～	
			アルゴリズムとデータ構造	4	○	2～	
			コンピュータアーキテクチャ	2	○	2～	
			ソフトウェア開発論	4	○	1～	
			情報数学	2	○	2～	
			基礎プログラミング	4	1科目	1	
			応用プログラミング	4	◎	2	
	情報システム	1以上	データベース論	4	◎	2～	
			経営情報システム論	2	○	2～	
			情報セキュリティ	2	○	1～	
	情報通信ネットワーク	1以上	ネットワーク構築論	2	◎	2～	
			インターネット・ビジネス論	2	○	2～	
			ネットワークプログラミング	2	○	2～	
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	1以上	マルチメディア論	2	◎	1～	
			情報デザイン	2	◎	2～	
			色彩学	2	○	2～	
			コンピュータグラフィックス	2	○	2～	
画像処理論			2	○	2～		
コマーシャルデザイン			2	○	1～		
デジタル映像表現			2	○	1～		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	情報科教育法Ⅰ☆	2	◎	2～		
		情報科教育法Ⅱ☆	2	◎	2～		

☆は卒業単位として算入されない科目

別表第 3-7

社会福祉学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：32単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	1以上	日本史概論	2	◎	1～2	最低修得単位28単位（必修を含む）ただし、本学では32単位	大学が独自に設定する科目から4単位	
			東洋史概論	2	◎	1～2			
			西洋史概論	2	◎	1～2			
			社会思想史	2	○	1～2			
			信州地域史	2	○	1～			
			歴史の見方	2	○	3～			
	地理学（地誌を含む）	1以上	地理学概論	2	◎	2～			
			地誌概論	2	◎	1～2			
	「法学、政治学」	1以上	法学	2	◎	1～2			
			地方自治論	2	○	2～			
			政治学概論	2	◎	1～2			
			権利擁護を支える法制度	2	○	3～			
			刑事司法と福祉	2	○	3～			
	「社会学、経済学」	1以上	社会学と社会システム	2	◎	1～			
			福祉の仕事	2	○	1			
			社会福祉の視点と方法	2	○	1			
			経済学概論	2	◎	2～			
			地域福祉と包括的支援体制 I	2	○	2～			
	「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	哲学概論	2	◎	1～2			
			現代社会と哲学	2	○	1～2			
			倫理学概論	2	◎	1～2			
			現代社会と倫理学	2	○	1～2			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	社会科指導法基礎☆	2	◎	1			
			社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～3			
社会科・地歴科教育法B☆			2	◎	2～3				
社会科・公民科教育法A☆			2	◎	2～3				
社会科・公民科教育法B☆			2	◎	2～3				

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部並びに地域経営学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第 3-8

社会福祉学部：高等学校教諭一種免許状（公民）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）	1以上	法学	2	◎	1～2	最低修得単位24単位（必修を含む）	大学が独自に設定する科目から12単位	
			地方自治論	2	○	2～			
			政治学概論	2	◎	1～2			
			権利擁護を支える法制度	2	○	3～			
			刑事司法と福祉	2	○	3～			
	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	1以上	社会学と社会システム	2	◎	1～			
			福祉の仕事	2	○	1			
			社会福祉の視点と方法	2	○	1			
			経済学概論	2	◎	2～			
			地域福祉と包括的支援体制 I	2	○	2～			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1以上	哲学概論	2	◎	1～2			
			現代社会と哲学	2	○	1～2			
			倫理学概論	2	◎	1～2			
			現代社会と倫理学	2	○	1～2			
			心理学概論 I	2	○	1～2			
			心理学概論 II	2	○	1～2			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	社会科・公民科教育法A☆	2	◎	2～3			
社会科・公民科教育法B☆			2	◎	2～3				

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部並びに地域経営学部及び環境ツーリズム学部に共通に置くこととする。

別表第 3-9

社会福祉学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	1以上	日本史概論	2	◎	1～2	24単位 (必修を含む)	
				近代日本の歩み	2	○	3～		
				信州地域史	2	○	1～		
				社会福祉発達史A	2	◎	2～		
				歴史の見方	2	○	3～		
	外国史	1以上	東洋史概論	2	◎	1～2			
			日中関係史	2	○	3～			
			西洋史概論	2	◎	1～2			
			社会思想史	2	○	1～2			
			社会福祉発達史B	2	○	2～			
			社会福祉発達史C	2	○	3～			
	人文地理学・自然地理学	1以上	地理学概論	2	◎	2～			
	地誌	1以上	地誌概論	2	◎	1～2			
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4以上	社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～3			
社会科・地歴科教育法B☆			2	◎	2～3				

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部並びに地域経営学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第3-10

地域経営学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：36単位）

◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数	
		科目	単位	履修基準	取得年次			
教科及び教科の指導法的事項に関する科目	1以上	日本史・外国史	日本史概論	2	◎	1～2	最低修得単位数（必修を含む）ただし、本学では36単位	大学が独自に設定する科目から4単位
			信州地域史	2	○	1～		
			歴史の見方	2	○	3～		
			東洋史概論	2	◎	1～2		
			西洋史概論	2	◎	1～2		
			社会思想史	2	○	1～2		
	1以上	地理学（地誌を含む）	地理学	2	◎	2～		
			観光地理学	2	○	2～		
			地誌概論	2	◎	1～2		
	1以上	「法学、政治学」	法学概論	2	◎	1～2		
			地方自治論	2	○	2～		
			政治学概論	2	◎	1～2		
			行政学	2	○	2～		
	1以上	「社会学、経済学」	社会学概論	4	◎	1～		
			社会調査論	4	○	1～		
			経済学概論	4	◎	1～		
			持続可能な地域づくり論	2	○	2～		
	1以上	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	◎	1～2		
			現代社会と哲学	2	○	1～2		
			倫理学概論	2	◎	1～2		
			現代社会と倫理学	2	○	1～2		
	8以上	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科指導法基礎☆	2	◎	1		
			社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～3		
			社会科・地歴科教育法B☆	2	◎	2～3		
社会科・公民科教育法A☆			2	◎	2～3			
社会科・公民科教育法B☆			2	◎	2～3			

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部並びに地域経営学部及び環境ツーリズム学部に通に置くこととする。

別表第3-11

地域経営学部：高等学校教諭一種免許状（公民）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数		
		科目	単位	履修基準 取得年次				
教科及び教科の指導法的事項に関する科目	1以上	法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治学を含む）	法学概論	2	◎	1～2	最低修得単位数24単位（必修を含む）	大学が独自に設定する科目から12単位
		法学概論	2	○	2～			
		政治学概論	2	◎	1～2			
		行政学	2	○	2～			
	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	1以上	社会学概論	4	◎	1～		
			地域社会学	2	○	2～		
			社会調査論	4	○	1～		
			経済学概論	4	◎	1～		
			国際社会学	2	○	2～		
			持続可能な地域づくり論	2	○	2～		
			地域経済学	2	○	2～		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1以上	哲学概論	2	◎	1～2		
			現代社会と哲学	2	○	1～2		
			倫理学概論	2	◎	1～2		
			現代社会と倫理学	2	○	1～2		
			心理学	2	○	1～3		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	社会科・公民科教育法A☆	2	◎	2～3		
			社会科・公民科教育法B☆	2	◎	2～3		

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部及び地域経営学部に共通に置くこととする。

別表第3-12

地域経営学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準	取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	1以上	日本史概論	2	◎	1～2	最低修得単位数24単位（必修を含む）	大学が独自に設定する科目から12単位	
			近代日本の歩み	2	○	3～			
			信州地域史	2	○	1～			
			歴史の見方	2	○	3～			
	外国史	1以上	東洋史概論	2	◎	1～2			
			日中関係史	2	○	3～			
			西洋史概論	2	◎	1～2			
			社会思想史	2	○	1～2			
	人文地理学及び自然地理学	1以上	地理学	2	◎	2～			
			観光地理学	2	○	2～			
			地域環境論	2	○	2～			
			環境教育論	2	○	2～			
	地誌	1以上	地誌概論	2	◎	1～2			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	社会科・地歴科教育法A☆	2	◎	2～3			
社会科・地歴科教育法B☆			2	◎	2～3				

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、社会福祉学部及び地域経営学部に通に置くこととする。

別表第3-13

共創情報科学部：高等学校教諭一種免許状（数学）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群			免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数
				科目	単位	履修基準 取得年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	1以上	線形代数学	2	◎	1～	最低修得単位数24単位（必修を含む）	大学が独自に設定する科目から4単位
			線形代数学概論	2	○	1～2		
	幾何学	1以上	離散数学	2	◎	2～		
			動的システム論	2	○	3～		
			パターン認識とメディア処理	2	○	3～		
	解析学	1以上	微分積分学	2	◎	2～		
			微分積分学概論	2	○	1～2		
			応用数学	2	○	2～		
	確率論、統計学	1以上	確率統計基礎	2	◎	1～2		
			確率統計	2	○	2～		
			計画数学	2	○	2～		
	コンピュータ	1以上	コンピュータ数学	2	◎	1～2		
			プログラミング基礎	2	○	1～		
			人工知能概論	2	○	2～		
			アルゴリズムとデータ構造	2	○	3～		
			ファジ理論	2	○	3～		
			数値計画法	2	○	3～		
各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	数学科教育法A☆	2	◎	1～2			
		数学科教育法B☆	2	◎	2～3			

☆は卒業単位として算入されない科目

別表第3-14

共創情報科学部：高等学校教諭一種免許状（情報）

教科及び教科の指導法に関する科目（最低所要単位数：24単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数			
		科目	単位	履修取得基準 年次					
教科及び教科の指導法的事項に関する科目	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	1以上	コンピュータシステム	2	◎	2～	最低修得単位24単位を含む)	大学が独自に設定する科目から12単位	
			技術者倫理	2	◎	3～			
コンピュータ・情報処理	1以上		プログラミング基礎	2	◎	1～	最低修得単位24単位を含む)	大学が独自に設定する科目から12単位	
			コンピュータ数学	2	◎	1～2			
			人工知能概論	2	○	2～			
			コンピュータシステム演習	2	○	2～			
			電気電子回路	2	○	1～			
			センシング技術	2	○	2～			
			アルゴリズムとデータ構造	2	○	3～			
			数値計算法	2	○	3～			
	1以上	情報システム		コンピュータサイエンス	2	◎			1～
				深層学習Ⅰ	2	○			2～
				深層学習Ⅱ	2	○			3～
	1以上	情報通信ネットワーク		サイバーフィジカルシステム	2	◎			3～
				情報ネットワーク	2	○			2～
				情報セキュリティ	2	○			3～
1以上	マルチメディア表現・マルチメディア技術		データビジュアライゼーション	2	◎	2～			
			情報デザイン	2	○	1～			
			情報デザイン基礎	2	○	1～			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上		情報科教育法A☆	2	◎	2～3			
			情報科教育法B☆	2	◎	2～3			

☆は卒業単位として算入されない科目

別表第3-15

環境ツーリズム学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：31単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低単位数	必要単位数	必要単位数
		科目	単位数	履修基準			
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎	1～	27	大学が独自に設定
		教育学	2	○	1～		
		教職概論☆	2	◎	1～2		
		教育制度・経営☆	2	◎	2～		
		教育心理学（教育・学校心理学）	2	◎	1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎	1～		
		教育課程論☆	2	◎	2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	道徳教育の指導法☆	2	◎	2～	31	単位
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～		
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	◎	2～		
		情報通信技術を活用した教育の	2	◎	2～		

目	理論及び方法		指導法☆			
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導論☆	2	◎	3～
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	・教育実習	5	教育実習指導☆	1	◎	3
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			介護等体験☆	1	◎	2～3
			学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「介護等体験」（1単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-16

環境ツーリズム学部：高校教諭一種免許状（公民）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			取得最低単位数	大学が独自に設定する単位数
		科目	単位数	履修基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎	1～	23単位 （必ず修得を含む） ただし、本学では27単位
		教育学	2	○	1～	
		教職概論☆	2	◎	1～2	
		教育制度・経営☆	2	◎	2～	
		教育心理学（教育・学校心理学）	2	◎	1～	
		特別支援教育概論☆	2	◎	1～	
		教育課程論☆	2	◎	2～	
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～	
		教育の方法及び情報機器及び教材の活用を含む。）	2	◎	2～	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎	2～	

目	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の理論及び方法</li> <li>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</li> <li>進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</li> </ul>		生徒指導論☆	2	◎	3～
			教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
			進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習</li> </ul>	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実践演習</li> </ul>	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法☆	2	○	2～
			発達障害教育総論☆	2	○	1～
			学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-17

環境ツーリズム学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

(注) ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低単位数 23単位	必要単位数 大学が独自に設定
		科目	単位数	履修取得年次 基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎ 1～	位(必ず修得を含む)ただし、本学では27単位	
		教育学	2	○ 1～		
		教職概論☆	2	◎ 1～2		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学(教育・学校心理学)	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1～		
		教育課程論☆	2	◎ 2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～		
		教育の方法及び情報技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎ 2～		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎ 2～		

目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の理論及び方法</li> <li>・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</li> <li>・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</li> </ul>		生徒指導論☆	2	◎	3～
			教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
			進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法☆	2	○	2～
			発達障害教育総論☆	2	○	1～
			学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～

☆ は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-18

企業情報学部：高等学校教諭一種免許状（情報）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低単位数 23	必要単位数 大学が独自に設定
		科目	単位数	履修取得年次 基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎ 1～	位（必ず修得を含む）ただし、本学では27単位	る科目から12単
		教育学	2	○ 1～		
		教職概論☆	2	◎ 1～2		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学（教育・学校心理学）	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～		
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	◎ 2～		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎ 2～		

目	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の理論及び方法</li> <li>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</li> <li>進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</li> </ul>		生徒指導論☆	2	◎	3～
			教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
			進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習</li> </ul>	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実践演習</li> </ul>	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法☆	2	○	2～
			発達障害教育総論☆	2	○	1～
			学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3—15

社会福祉学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：31単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			取得最低単位数	大学が独自に設定する単位数
		科目	単位数	履修基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論	2	◎	1	27単位（必修を含む）から4単位ただし、本学では31単位
		教職概論☆	2	◎	1	
		教育制度・経営☆	2	◎	2～	
		教育心理学（教育・学校心理学）☆	2	◎	1～	
		特別支援教育概論☆	2	◎	1	
		教育課程論☆	2	◎	2～	
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	道徳教育の指導法☆	2	◎	2～	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	◎	2	
		情報通信技術を活用した教育の	2	◎	2	

目	理論及び方法		指導法☆			
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導論☆	2	◎	3～
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	・教育実習	5	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習1☆	4	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	介護等体験☆	1	◎	2～3
			発達障害教育総論	2	○	1～
			教育のユニバーサルデザインと授業作り	2	○	

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「介護等体験」（1単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

社会福祉学部：高等学校教諭一種免許状（公民）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低単位数 23	必要単位数 大学が独自に設定
		科目	単位数	履修基準 取得年次		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論	2	◎ 1	位（必ず修得する） 含む） ただし、本 学では27 単位	る 科目 から 12単 位
		教職概論☆	2	◎ 1		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学（教育・学 校心理学）☆	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1		
		教育課程論☆	2	◎ 2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～		
		教育の方法及び情報機器及び教材の活用を含む。）	2	◎ 2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎ 2		
		生徒指導の理論及び方法	2	◎ 3～		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</li> <li>・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</li> </ul>		教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
			進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法☆	2	○	2～
			発達障害教育総論	2	○	1～
			教育のユニバーサルデザインと授業作り	2	○	3～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3—17

社会福祉学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低単位数	必要単位数
		科目	単位数	履修取得年次基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論	2	◎ 1	23	大学が独自に設定する科目から12単位
		教職概論☆	2	◎ 1		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学（教育・学校心理学）☆	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1		
		教育課程論☆	2	◎ 2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～	27	は27単位
		教育の方法及び情報通信技術を活用した教育の	2	◎ 2		

に関する科目	理論及び方法 ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		指導法☆			
			生徒指導論☆	2	◎	3～
			教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～
			進路指導論☆	2	◎	3～
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～
	・教育実践演習		2	◎	4	
大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法☆	2	○	2～
			発達障害教育総論	2	○	1～
			教育のユニバーサルデザインと授業作り	2	○	3～

☆ は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-18

地域経営学部：中学校教諭一種免許状（社会）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：31単位）

(注) ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				必要単位数	必要単位数
		科目	単位数	履修基準	取得年次		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎	1	27	大学が独自に設定する科目から4単位を含む。ただし、本学では31単位
		教職概論☆	2	◎	1		
		教育制度・経営☆	2	◎	2～		
		教育心理学(教育・学校心理学)☆	2	◎	1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎	1		
		教育課程論☆	2	◎	2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	道徳教育の指導法☆	2	◎	2～		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～		
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	◎	2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	◎	3～		
		生徒指導の理論及び方法	2	◎	3～		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	◎	3～		
		進路指導論☆	2	◎	3～		

	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	・教育実習	5	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習1☆	4	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			介護等体験☆	1	◎	2～3

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「介護等体験」（1単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-19

地域経営学部：高校教諭一種免許状（公民）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			最低修得単位数 23単位	必要単位数 大学が独自に設定する科目から12単位
		科目	単位数	履修基準 取得年次		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎ 1	位(必修を含む)ただし、本学では27単位	を科目から12単位
		教職概論☆	2	◎ 1		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学(教育・学校心理学)☆	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1		
		教育課程論☆	2	◎ 2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～		
		教育の方法及び情報通信技術を活用した指導法☆	2	◎ 2		
		生徒指導論☆	2	◎ 3～		
		教育相談の理論と方法☆	2	◎ 3～		
		進路指導論☆	2	◎ 3～		

	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
			学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			道徳教育の指導法	2	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-20

地域経営学部：高校教諭一種免許状（地理歴史）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数
		科目	単位数	履修基準		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎	1	最低修得単位数23 大学が独自に定める
		教職概論☆	2	◎	1	
		教育制度・経営☆	2	◎	2～	
		教育心理学（教育・学校心理学）☆	2	◎	1～	
		特別支援教育概論☆	2	◎	1	
		教育課程論☆	2	◎	2～	
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～	ただし、本学では27単位
		教育の方法及び情報通信技術を活用した指導法☆	2	◎	2	
		生徒指導論☆	2	◎	3～	
		教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～	
		進路指導論☆	2	◎	3～	

	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習 2 ☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動 I ☆	1	○	1～
		学校体験活動 II ☆	1	○	2～	
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			道徳教育の指導法☆	2	○	2～

☆ は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-21

共創情報科学部：高等学校教諭一種免許状（数学）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準			必要単位数	必要単位数
		科目	単位数	履修基準 取得年次		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎ 1	最低修得単位数23 （必修を含む） 大学が独自に設定する 12単位 し、本学では27単位	
		教職概論☆	2	◎ 1		
		教育制度・経営☆	2	◎ 2～		
		教育心理学（教育・学校心理学）☆	2	◎ 1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎ 1		
		教育課程論☆	2	◎ 2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎ 2～		
		教育の方法及び情報通信技術を活用した指導法☆	2	◎ 2		
		生徒指導論☆	2	◎ 3～		
		教育相談の理論と方法☆	2	◎ 3～		
		進路指導論☆	2	◎ 3～		
		道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				

	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習2☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動Ⅰ☆	1	○	1～
		学校体験活動Ⅱ☆	1	○	2～	
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			道徳教育の指導法☆	2	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-22

共創情報科学部：高等学校教諭一種免許状（情報）

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目（最低所要単位数：27単位）

（注） ◎必修科目 ○選択科目

免許法令による科目群	免許法令による単位数	本学開講科目による履修基準				最低単位数 23	必要単位数 大学が独自に設定する科目から ただし、本学では27単位
		科目	単位数	履修基準	取得年次		
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論☆	2	◎	1	位（必ず含む）	
		教職概論☆	2	◎	1		
		教育制度・経営☆	2	◎	2～		
		教育心理学（教育・学校心理学）☆	2	◎	1～		
		特別支援教育概論☆	2	◎	1		
		教育課程論☆	2	◎	2～		
道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	10	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法☆	2	◎	2～	は27単位	
		教育の方法及び情報通信技術を活用した指導法☆	2	◎	2		
		生徒指導論☆	2	◎	3～		
		教育相談の理論と方法☆	2	◎	3～		
		進路指導論☆	2	◎	3～		
		道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					

	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	・教育実習	3	教育実習指導☆	1	◎	3
			教育実習 2 ☆	2	◎	4
	・学校体験活動		学校体験活動 I ☆	1	○	1～
			学校体験活動 II ☆	1	○	2～
	・教育実践演習	2	教職実践演習☆	2	◎	4
大学が独自に設定する科目		4	発達障害教育総論☆	2	○	1～
			道徳教育の指導法☆	2	○	2～

☆は卒業単位として算入されない科目

備考 「道徳教育の指導法」（2単位）を「大学が独自に設定する科目」として算入することができる。

教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目、教育実践に関する科目については、全学共通に置くこととする。

別表第3-23

社会福祉学部：特別支援学校教諭一種免許状

特別支援教育に関する科目（最低所要単位数：31単位）

(注) ◎必修科目○選択科目

免許法令による科目群	単位数	本学開講科目による履修基準					備考
		科目	単位	履修基準	取得年次	必要単位数	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論☆	2	◎	1～2	最低修得所要単位数26単位(必修を含む) ただし、本学では31単位	
		自立活動の理論と実際	2	◎	1～		
特別支援教育領域に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害者の心理・生理・病理	2	◎	2～		
		発達診断の理論と方法	2	○	3～		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	◎	2～		
		知的障害教育A（教育課程）☆	2	◎	2		
		知的障害教育B（指導法）☆	2	◎	2		
		肢体不自由教育A（教育課程）☆	2	◎	2		
		肢体不自由教育B（指導法）☆	2	◎	2		
		知的障害教育演習☆	4	1科目	3～		
肢体不自由教育演習☆	4	◎	3～				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	視覚障害教育総論	2	◎	3～		
		聴覚・言語障害教育総論	2	◎	3～		
		重複障害教育総論	2	◎	3～		
		発達障害教育総論	2	◎	1～		
		発達障害自立活動演習	2	○	3～		
		障害児療育支援	2	○	1～		
		特別支援教育実習指導☆	1	◎	3		
特別支援教育実習☆	2	◎	4				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3						

☆は卒業単位として算入されない科目

## 別表第4

## 社会福祉士指定科目と本学開講科目の対応表

社会福祉士指定科目	本学開講科目	単位	履修要件	取得年次	備考
◎医学概論	人体の構造と機能及び疾病	2	必修	1～	
◎心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	必修	1～	
◎社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	必修	1～	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	必修	2～	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	必修	2～	
◎社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	必修	1～	
◎ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	必修	1～	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	必修	1～	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	必修	2～	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	必修	2～	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	必修	3～	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2	必修	3～	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	必修	2～	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	必修	2～	
◎福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	必修	3～	
◎社会保障	社会保障Ⅰ	2	必修	3～	
	社会保障Ⅱ	2	必修	3～	
◎高齢者福祉	高齢者福祉	2	必修	1～	
◎障害者福祉	障害者福祉	2	必修	1～	
◎児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	2	必修	1～	
◎貧困に対する支援	貧困に対する支援	2	必修	2～	
◎保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	必修	3～	
◎権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	必修	3～	
◎刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	必修	3～	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	必修	2～	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	必修	2～	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	必修	3～	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	必修	3～	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	1	必修	3～	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	必修	2～	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	必修	3～	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	必修	3～	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1	必修	2～	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	必修	3～	

◎印は基礎科目

## 別表第 5

精神保健福祉士指定科目と本学開講科目の対応表

精神保健福祉士指定科目	本学開講科目	単位	履修要件	取得年次	備考
精神医学と精神医療	精神疾患とその治療Ⅰ	2	必修	2～	
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	必修	2～	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	必修	2～	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	必修	2～	
◎ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	必修	1～	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	必修	2～	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	必修	2～	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	必修	2～	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	必修	2～	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅰ	2	必修	3～	
	ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅱ	2	必修	4	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	必修	3～	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	必修	4	
◎医学概論	人体の構造と機能及び疾病	2	必修	1～	
◎心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	必修	1～	
◎社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	必修	1～	
◎社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	必修	2～	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	必修	2～	
◎地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	必修	2～	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	必修	2～	
◎社会保障	社会保障Ⅰ	2	必修	3～	
	社会保障Ⅱ	2	必修	3～	
◎障害者福祉	障害者福祉	2	必修	1～	
◎権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	必修	3～	
◎刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	必修	3～	
◎社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	必修	1～	
◎ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	必修	2～	
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	必修	3～	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	必修	4	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	必修	4	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	必修	3～	

	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	必修	4	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	必修	4	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習Ⅰ	1～2	必修	3～	
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	2	必修	4	

◎印は基礎科目

## 別表第6

## 公認心理師科目

大学等における必要な科目名		本学開講科目	単位	履修要件	取得年次	
必須科目	①	公認心理師の職責	公認心理師の職責 ☆	2	必修	3～
	②	心理学概論	心理学概論Ⅰ	2	必修	1～
			心理学概論Ⅱ	2	必修	1～
	③	臨床心理学概論	臨床心理学概論Ⅰ	2	必修	2～
			臨床心理学概論Ⅱ	2	必修	2～
	④	心理学研究法	心理学研究法	2	必修	2～
	⑤	心理学統計法	心理学統計法Ⅰ	2	必修	1～
			心理学統計法Ⅱ	2	必修	1～
	⑥	心理学実験	心理学実験Ⅰ	2	必修	2～
			心理学実験Ⅱ	2	必修	2～
	⑦	知覚・認知心理学	知覚心理学 (知覚・認知心理学)	2	必修	2～
			認知心理学 (知覚・認知心理学)	2	必修	2～
	⑧	学習・言語心理学	学習心理学 (学習・言語心理学)	2	必修	2～
			言語心理学 (学習・言語心理学)	2	必修	2～
	⑨	感情・人格心理学	感情心理学 (感情・人格心理学)	2	必修	3～
			人格心理学 (感情・人格心理学)	2	必修	3～
	⑩	神経・生理心理学	神経心理学 (神経・生理心理学)	2	必修	2～
			生理心理学 (神経・生理心理学)	2	必修	3～
	⑪	社会・集団・家族心理学	社会・集団心理学 (社会・集団・家族心理学)	2	必修	1～
			家族心理学 (社会・集団・家族心理学)	2	必修	1～
	⑫	発達心理学	発達心理学Ⅰ	2	必修	1～
発達心理学Ⅱ			2	必修	1～	
⑬	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必修	3～	
⑭	心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必修	2～	
⑮	心理学的支援法	心理学的支援法	2	必修	3～	
⑯	健康・医療心理学	健康心理学 (健康・医療心理学)	2	必修	3～	
		医療心理学 (健康・医療心理学)	2	必修	3～	
⑰	福祉心理学	福祉心理学	2	必修	3～	
⑱	教育・学校心理学	教育心理学 (教育・学校心理学)	2	必修	1～	
		学校心理学 (教育・学校心理学)	2	必修	2～	
⑲	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	必修	3～	
⑳	産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必修	3～	
㉑	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必修	1～	

②	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療Ⅰ	2	必修	2～
		精神疾患とその治療Ⅱ	2	必修	2～
③	関係行政論	関係行政論 ☆	2	必修	3～
④	心理演習	心理演習Ⅰ	2	必修	3～
		心理演習Ⅱ	2	必修	3～
⑤	心理実習	心理実習	4	必修	4

☆は卒業単位に算入されない科目

別表第7-1

社会福祉学部 社会福祉学科 卒業要件単位

区分			必修	選択必修	選択	合計
基礎 科目 群	語学リテラシー	Integrated English I	2	4		24
		Integrated English II	2			
	未来リテラシー		2			
	情報リテラシー		3			
	数学リテラシー					
教養 科目 群	リベラルアーツ			3		
	科学・技術			4		
	地域学			4		
計24単位						
区分			必修	選択 必修	選択	合計
専門 科目 群	専門基礎科目（共通）	人間と社会の理解	4		専門 基礎 科目 から 8	専門 科目 から 10
		社会福祉の視点と方法	2			
		福祉の仕事	2			
		社会保障Ⅰ	2			
		障害入門（発達支援学入門）	2			
	専門基礎科目（基盤）			8		
	専門科目（共通）	社会保障Ⅱ	2		専門 科目 から 16	
		社会福祉学研究入門Ⅰ	2			
		社会福祉学研究入門Ⅱ	2			
		専門ゼミナールⅠ	4			
		専門ゼミナールⅡ	4			
卒業研究と論文	8					
専門科目（展開）				8		
				計100単位 合計124単位		

## 別表第 7-2

## 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 卒業要件単位

区分		必修	選択必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	合計
教養 科目	導入科目	課題探求ゼミナールⅠ・Ⅱ（１年次）	4	9 (11)	28 (28)	125 単 位
		コンピュータ基礎（１年次）		※2	※1	
		アカデミックライティング（１年次）				
	論理と思考	〔最低4単位〕	4			
	身体と感性	〔最低4単位〕	4			
	地域と世界	〔最低4単位〕	4			
	歴史と未来	データサイエンス概論	2.			
		〔最低2単位〕	2.			
	職業と生き方					
	外国語科目	英語・中国語・ドイツ語・韓国語	4	4		
選択必修〔英語又は中国語4単位 必修を含む最低8単位〕			外国人留 学生は除 く			
	日本語Ⅰ・Ⅱ(外国人留学生)	(6)				
	日本事情基礎	※2				
計37単位（37単位）						
専門 教育 科目	専門基礎科目	地域社会学	6	18		
		地域環境概論				
		観光概論				
		選択必修〔最低4単位〕	4			
	専門基幹科目	地域マネジメント（１年次）		6		
		選択必修〔最低6単位〕				
		社会調査（１年次）		6		
		選択必修〔最低6単位〕				
	専門展開科目	観光専門〔最低4単位〕		4		
		環境専門〔最低4単位〕		4		
職業観養成科目						
演習科目	専門ゼミナールⅠ（２年次）	4				
	専門ゼミナールⅡ（３年次）	4				
	卒業研究ゼミナール（４年次）	4				
関連科目						
計60単位						

※1 選択Ⅱの28単位には単位互換による他大学での履修単位を含む。

※2 ( )内は外国人留学生の修得単位を示す。

別表第別表第 7-3

企業情報学部 企業情報学科 卒業要件単位

区分		必修	選択必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	合計
教養 科目	導入科目	課題発見ゼミナールⅠ（１年次）	4	8(10) ※	23 (23) ※1	125 単 位
		課題発見ゼミナールⅡ（１年次）	4			
		コンピュータ基礎（１年次）				
		アカデミックライティング（１年次）				
	論理と思考	〔最低4単位〕		4		
	身体と感性	〔最低4単位〕		4		
	地域と世界	〔最低4単位〕		4		
	歴史と未来	データサイエンス概論	2.			
		〔最低2単位〕		2.		
	外国語科目	英語・中国語・ドイツ語・韓国語 選択必修〔英語又は中国語4単位必修を含む最低8単位〕	4	4	4	
日本語Ⅰ・Ⅱ(外国人留学生) 日本事情基礎		(6) ※2				
計40単位（40単位）						
専門 教育 科目	専門基礎科目	選択必修〔最低4単位〕		4		
	専門共通科目	専門共通科目（１年次を除く） 選択必修〔最低12単位〕		12		
		クラスター科目	経営（１年次を除く）		16	
			情報（１年次を除く） デザイン（１年次を除く）			
	職業観養成科目	職業観養成科目 選択必修〔最低6単位〕		6		
	プロジェクト型 科目	プロジェクト研究Ⅰ（２年次）	24			
		プロジェクト研究Ⅱ（３年次）				
プロジェクト研究Ⅲ（４年次）						
卒業研究（４年次）						
関連科目	関連科目〔選択〕					
計62単位						

※1 選択Ⅱの23単位には単位互換による他大学での履修単位を含む。

※2 ( )内は外国人留学生の取得単位を示す。

## 別表第7-4

## 地域経営学部 地域経営学科 卒業要件単位

区分				必修	選択必修	選択	合計
基礎 科目 群	語学リテラシー	英語	Integrated English I	2		4	34
			Integrated English II	2			
		中国語			4		
	未来リテラシー				2		
	情報リテラシー	データサイエンス概論		2			
						2	
数学リテラシー					2		
教養 科目 群	リベラルアーツ					10	
	科学・技術					2	
	地域学					2	
計34単位							
区分				必修	選択必修	選択	合計
専門 科目 群	専門 基礎 科目	専門基礎科目	経済学概論	4		6	90
			社会学概論	4			
			経営学概論	4			
	専門 基幹 科目	経営イノベーション領域	戦略経営論	2	※22		
		組織マネジメント領域	人的資源管理論	2			
	環境ツーリズム領域		観光経営論	2			
	地域公共政策領域		地域社会学	2			
	調査・分析系科目		社会調査論	4			
						2	
プロジェクト・ ゼミナール科目	課題探求ゼミナールⅠ		4				
	課題探求ゼミナールⅡ		4				
	プロジェクト研究Ⅰ		8				
	プロジェクト研究Ⅱ		8				
	卒業研究		8				
キャリア科目					4		
計90単位							
合計124単位							

※ 22単位選択必修（主コースから16単位・副コースから6単位）

別表第 7-5

共創情報科学部 共創情報科学科 卒業要件単位

区分				必修	選択必修	選択	合計
基礎科目群	語学リテラシー	英語	Integrated English I	2		6	28
			Integrated English II	2			
					4		
		未来リテラシー	価値創造論	2			
		情報リテラシー	データサイエンス概論	2		2	
						2	
		数学リテラシー				2	
教養科目群	リベラルアーツ				2		
	科学・技術				2		
	地域学				2		
計28単位							
区分				必修	選択必修	選択	合計
専門科目群	専門基礎科目	共創システム	共創情報科学概論	2		44	96
			共創情報科学基礎演習	2			
			共創情報科学演習（も、U、G）注1		2		
			人工知能概論	2			
			自然環境評価論	2			
			技術者倫理	2			
					4		
		数学・物理	線形代数学	2			
			微分積分学	2			
					2		
	知能基礎	コンピュータサイエンス	2		注2		
				4			
	デザイン基礎	HCD概論	2				
				4			
	環境基礎	生物多様性概論	2				
				4			
	専門基幹	知能科学			2		

	デザイン科学	注3		2	
	環境科学			2	
	地域連携	地域共創演習Ⅰ	2		
		地域共創演習Ⅱ	2		
	研究	卒業研究Ⅰ	4		
		卒業研究Ⅱ	4		
				計96単位 合計124単位	

注1 共創システムの6単位選択必修の内、「共創情報科学演習」から2単位選択必修とする。

注2 知能コースは「知能基礎」から6単位（2単位必修、4単位選択必修）、「知能科学」から6単位選択必修、デザインコースは「デザイン基礎」から6単位（2単位必修、4単位選択必修）、「デザイン科学」から6単位選択必修、環境コースは「環境基礎」から6単位（2単位必修、4単位選択必修）、「環境科学」から6単位選択必修とする。

注3 知能コース、環境コースは「情報デザイン演習」「デザイン特別演習Ⅰ」「デザイン特別演習Ⅱ」を履修できない